



乙訓福祉施設事務組合 '15.12月◎34号

おつふくつうしん

広報

●発行●
乙訓福祉施設
事務組合総務課
●住所●
京都府長岡京市
井ノ内西ノ口17-8
TEL.075-954-6507
FAX.075-958-1639
HP <http://www.otsufuku.com>

乙訓福祉施設事務組合とは 向日市、長岡京市、大山崎町の2市1町が福祉事業の一部を共同して行うことを目的として設立されている一部事務組合（特別地方公共団体）です。



乙訓若竹苑は、就労継続支援（B型）事業・生活介護事業・地域活動支援センター事業・日中一時支援事業・相談支援事業を行っています。

TEL 075-954-6501 FAX 075-954-6588

地域活動支援センター事業

野菜の収穫

土を耕し、肥料をやり、水をやり、草木の生長を見守る。最後に草木から美味しいご褒美を頂く。そのご褒美を前にしてみんながにんまりとほほえむ。畑担当になると、草木の生長に一喜一憂し、虫と戦い、休みにも水をやり、収穫時期を迎える頃には、りっぱな農業従事者となっている。草木への「愛情」が芽ばえているよう。利用者さんにも、苗植え、水やり、草引き、収穫、いっぱい、いっぱい手伝って頂き、ここまで来られました。



そんな収穫の一部ですが、皆様にもお裾分けです。どうぞ。

初めての夏祭り

若竹苑の食堂にて2日間夏祭りを実施しました。1日目は地域活動支援センター事業。2日目は生活介護事業と合同での実施です。オープニングはスイカ割り始まり、各コーナー（かき氷、射的、わたあめ、輪投げなど）、スタンプカードを持って回りました。スタンプカードをすべて集めると賞品もあります。また、AKB48のフォーチュンクッキーの曲に乗り、ダンスを披露しました。

1日目は地域活動支援センター事業の利用者さんが参加者ですが、2日目は店員スタッフにもなり、お客様のおもてなし。夏祭りが利用者さんにとってどうだったのか？人それぞれの楽しみ方、満足度でしょうが、一つ言える事は、『この2日間みんなお腹いっぱい』だということです。

この成功？大成功？に味をしめ、来年への思いは膨らむ一方です…。夏祭り開催にあたり、御協力頂いた皆様、ありがとうございました。

生活介護事業

野菜の栽培を始めました

生活介護事業には、6名の利用者さんが通所されています。活動内容は、ウォーキングや作業を中心とした日課の他に、調理や創作活動・音楽などの時間を設けています。

平成27年度は、新たな取り組みとして鉢植えで枝豆の栽培を行いました。鉢植え・土・枝豆の種などは、地域の方々のご協力で提供していただき、利用者さん自身で鉢植えに土を入れたり、種をまいたりしました。また、枝豆の様子を定期的に写真に撮り「枝豆日記」を作り、みんなで豆の様子を書き込んだり絵に描いたりして日記をつけました。小さな枝豆が実り始めると「豆がなってきたなあ」と嬉しそうに枝豆を眺められていました。予定していたほどの収穫はなさそうですが、この経験を踏まえて、新たな植物の栽培へと繋げていければと思います。



お願い

生活介護事業では生産活動・リサイクル活動のため、アルミ缶と牛乳パック（中身をよく水洗いし乾燥させたもの）の回収を随時行っております。ご協力いただける方は、乙訓若竹苑（075-954-6501生活介護事業）までご連絡ください。皆様のご協力をお待ちしております。

平成27年度アルミ缶回収による上半期の収入

アルミ缶		
総重量261.7kg	買い取り価格145～95円/kg	計) 31,133円
ご協力ありがとうございました。		

就労継続支援（B型）事業

よく働き、よく遊ぼう！

就労継続支援（B型）事業の日々の日課は、ほぼ作業（お仕事）です。来る日も来る日も作業に明け暮れています。

就職を目指す方や毎月の工賃（給料）を楽しみにしている方にとって毎日の労働はとっても大切な意味を持っています。でも、人間働くばかりでは息が続きません。

忙しい作業を調整しながら実施する時々のレクリエーションは、明日からの労働への活力になっています。

今年は9月にカラオケに行きました。嵐やAKB48を振り付きで熱唱する方もいれば、まだ20歳代なのに昭和歌謡をじっくり歌う方等、好みの曲を思う存分歌って、終わる頃には憧れの歌手の顔になっていました。

また12月に大阪府池田市にあるインスタントラーメン発明記念館の見学を予定しています。チキンラーメンを自分で作ったり、梅田での食事や買い物が楽しみで、今からその話で持ちきりです。

天候の良い季節はレクリエーションを企画するのにも熱が入ります。これからも「よく働き、よく遊ぼう」をモットーに真剣な作業と楽しいレクリエーションを車の両輪にしていこうと考えています。



乙訓若竹苑
登録非常勤職員の募集

業務内容：障がい者の生活支援等 ※詳しくは直接お問い合わせください。

乙訓若竹苑 TEL 075-954-6501

障がい者相談支援課

障がい者総合相談支援センター（乙訓圏域障がい者自立支援協議会事務局）、乙訓障がい者基幹相談支援センター、乙訓障がい者虐待防止センターを設置しています。

TEL 075-952-6521 FAX 075-959-9086

乙訓圏域障がい者総合相談支援センター TEL 075-954-7939 FAX 075-959-9086

① ネットワーク、マネジメントの推進

乙訓圏域の障がい保健福祉圏域の障がい者に関するネットワークやケアマネジメントの推進を行うため乙訓圏域障がい者自立支援協議会事務局として活動しています。

平成27年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会活動内容（H27.4月～9月）

	開催状況	内 容（構成団体数）
全体会	5月22日（金） 午後1時半～ 乙訓総合庁舎講堂にて	26年度事業報告、27年度事業計画の承認 1委員会、2専門部会、3プロジェクト設置の承認 (40団体 延べ111人出席)
運営委員会	8回	自立支援協議会全体に関わる課題の検討、委員会・各部会・プロジェクト会議の内容と進行状況の確認、乙訓圏域での障がい者福祉の情報交換、発達障がいに関する部会設置の検討等（保健所 2市1町行政 11相談支援事業所）
「医療的ケア」委員会	3回	乙訓圏域における喀痰吸引等研修の実施、入院時コミュニケーション支援事業の実施状況確認、「医療的ケア」の必要な人の短期入所等（17団体）
地域生活支援部会	2回	支援学校卒業生の進路先確保、就労継続B型利用に向けた取組、緊急時の対応、障がい者福祉サービスの利用状況等（15団体）
相談支援部会	2回	相談支援専門員の専門性向上の研修会の開催に向けた検討等（17団体）
介護職員初任者研修プロジェクト	1回	ヘルパー養成をめざした「介護職員初任者研修」の計画並びに実施（6団体） 10月2日に7名の受講者により研修をスタートしました。
喀痰吸引等研修プロジェクト	3回	「介護職員等による喀痰吸引等研修」第3号研修の計画並びに実施（9団体） 10月17日、18日に研修を実施しました。（受講者21名）
精神障がい者地域生活支援プロジェクト	2回	地域生活への移行の推進、地域生活の課題検討等（10団体）

- ・各専門部の部会長・副部会長打合せを随時実施しています。
- ・乙訓圏域障がい者自立支援協議会のホームページを随時更新するとともに市町の広報紙等も活用しながら関係機関と連携した相談支援機関についての周知広報に努めています。

② 各種機関におけるネットワーク作りの推進、援助

- ・各市町障がい福祉計画策定委員会、乙訓特別支援連携協議会、各種研修会、連絡会に出席しました。
- ・管内事業所、支援学校の研修会を共催し、助言、広報活動を行いました。

乙訓障がい者基幹相談支援センター

TEL075-952-6521 FAX075-959-9086

障がいのある人やそのご家族からの相談に応じ、地域生活支援、権利擁護、また相談支援事業所等への支援や研修等を行っています。

障がい者福祉相談支援業務従事者初任者研修報告

6月18日（木）9：30～15：00乙訓総合庁舎第2会議室にて24名の参加のもと開催しました。



午前

「困難事例のバリエーション」

京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」 大塚秀樹氏

- ・複数の課題を抱えている2つのケースを通じて、地域生活支援センターの相談員として悩みながら取り組んできた状況を伝えていただき、参加者はグループに分かれて意見交換をしました。自分がこのケースを担当したらどう考えるかという視点に立ち活発な議論がなされました。

【感想】

- ＊具体的な内容に触れて勉強になりました。継続的な関わりを大事にしようと思いました。
- ＊どのような支援、サービスがあるのか、また提供できるのかを知る機会にもなり、ためになりました。
- ＊生活の安心を得られる支援の枠組みがあればと資源の創出の観点からも考えさせられました。

午後

「福祉現場の精神衛生」

たかはたクリニック 医師 高畑龍一氏

- ・脳の仕組みや、不安、ストレス、ストレスにならない対処法等、丁寧に話していただきました。
- ・「うつ度」を診断する評価尺度の表にも触れていただき、参加者自身の振り返りにも役に立ちました。

【感想】

- ＊自分自身の気持ちの持ち方について勉強となりました。
- ＊「通常」を知ることの大切さが分かりました。
- ＊精神科の先生のお話を聞いたのは初めてです。ストレスや脳の話などおもしろかったです。

【ご案内】平成27年度障がい者支援事業従事者研修

日時 平成27年12月10日（木）10：00～16：00 場所 乙訓総合庁舎

内容 成年後見制度の基礎知識と事例報告

お問い合わせ TEL075-952-6521 FAX075-959-9086

乙訓障がい者虐待防止センター

TEL 075-959-9085(24時間・通報専用) 075-952-6521 FAX 075-959-9086

障がい者虐待の防止や早期発見、当事者等に対する適切な支援、及び関係機関との連携を図ることを目的とし設置しています。

乙訓障がい者虐待防止ネットワーク会議報告

7月16日（木）13：30～15：30乙訓総合庁舎講堂にて38機関の参加のもと開催しました。

前半は、会長挨拶、委員紹介、平成26年度乙訓障がい者虐待防止センター事業報告、平成27年度事業計画の報告を行いました。

後半は、南都総合法律事務所弁護士の古川雅朗氏を講師にお迎えし、「障がい者虐待防止法施行後3年を迎えて」と題してご講演いただきました。ご自身が関わられた事案を通して障がい者虐待防止のためのネットワークの大切さについてお話を伺いました。

また、虐待防止の枠組みの中に弁護士ならではの専門性もぜひとも活用していただきたいとのお話もありました。



周知・啓発の一環として出前研修をしています。

講師依頼を受けて職員が出向き、研修をさせていただいています。今年度前半は次の事業所で障がい者虐待についてお話をしました。

6月26日(金)	18:30～	乙訓障害者事業協会	20名参加
7月17日(金)	15:00～	長岡病院	8名参加
9月30日(水)	14:00～	友愛印刷	6名参加
10月25日(日)	10:00～	乙訓若竹苑	21名参加

障害者虐待防止法の趣旨、発見時の対応などについてお話させていただきます。事業所の職員だけでなく、地域にお住まいの方、どなたでもかまいません。日時、場所、内容等ご相談に応じます。



絶対にあってはならない障がい者への虐待

虐待は障がい者の尊厳をおびやかし、自立や社会参加をさまたげます。虐待と気づかないまま起きているおそれもあります。

- 特定の場面で起こる問題ではありません。
- 虐待している人に、虐待している認識がない場合があります。
- 虐待されている人が、自分から被害を訴えられない場合があります。

そのため、虐待を防ぐためには、小さな兆候を見逃さずに早期に発見することが大切です。

虐待に気づいたらすみやかに相談を

地域ぐるみの早めの対応や支援が、虐待されている障がい者だけではなく、家族などがかかえる問題の解決にもつながります。ご協力をお願いします。

介護障害審査課

介護認定審査会及び障害支援区分認定審査会

介護障害審査課は、向日市・長岡京市・大山崎町における介護保険の要介護認定と障害者総合支援法に基づく障害支援区分認定の審査会事務局を担っています。

介護認定審査会は、72名の審査委員を18のグループに分けた合議体ごとに開催しており、要介護認定について審査し、二次判定を行います。

障害支援区分認定審査会は、11名の審査委員（うち1名は助言者のため合議体には属しません）を2つのグループに分けた合議体ごとに開催しています。障害者総合支援法に基づく障害サービスの介護給付に係る障害支援区分の二次判定と、市町の求めに応じて、当該市町が定める支給決定基準とかけ離れた支給決定案の妥当性について審査し、意見を述べる役割を担っています。

いずれの審査会においても、申請を受け付けたそれぞれの市町が、認定調査結果及び主治医が作成した意見書の一部から、国が定める一次判定ソフトに基づきコンピューターにより一次判定を行います。しかし、それだけでは申請者固有の状態を評価することはできません。そのため、両審査会は、一次判定結果を原案とし、認定調査票の特記事項と主治医が作成した意見書の内容をくみ取り、保健、医療、福祉等の専門性の観点から総合的に判断し、二次判定を実施しています。

なお、各合議体の委員構成については、保健、医療、福祉に関するバランスに配慮した体制が取られています。

また、公平公正な審査のため、申請者の氏名、住所、病院名等、個人が特定される情報を含まない資料を使用しています。

現在の審査委員の職種の内訳は下表のとおりで、任期は平成27年4月から平成29年3月までです。

介護認定審査会

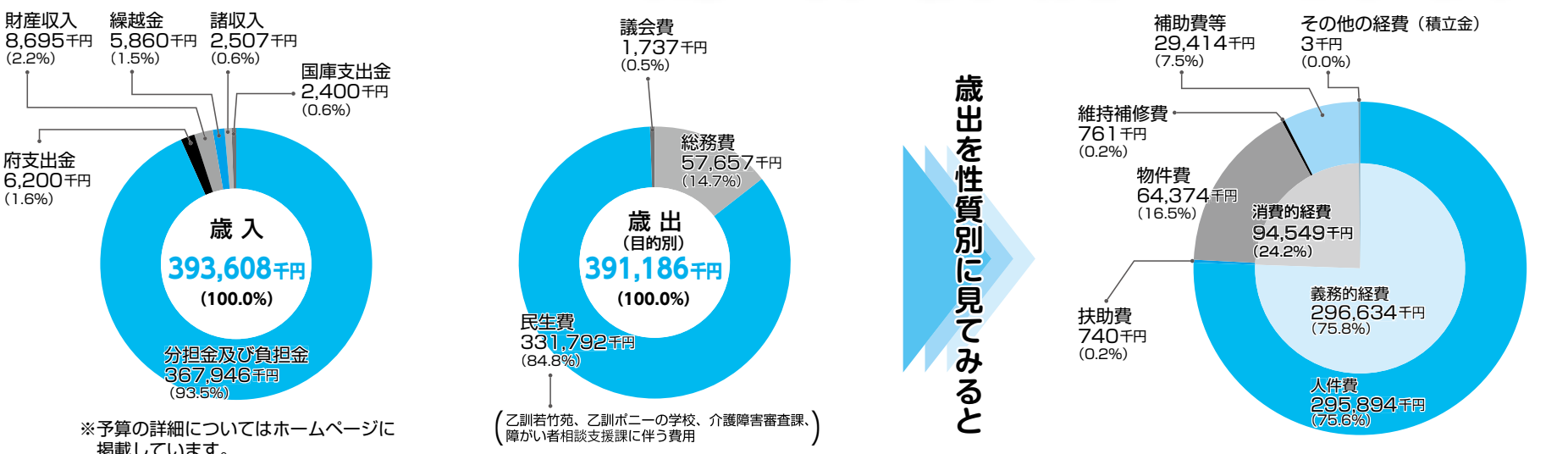
職 種	人 数
医 師	32
歯 科 医 師	4
薬 剤 師	2
看 護 師	7
保 健 師	4
歯科衛生士	2
介護福祉士	17
社会福祉士	1
作業療法士	2
福祉関係者	1

障害支援区分認定審査会

職 種	人 数
医 師	5
社会福祉士	2
介護福祉士	2
精神保健福祉士	1
福祉関係者	1

平成26年度決算

財政状況の公表



平成26年度の乙訓福祉施設事務組合一般会計決算は、10月2日に行われた組合議会で認定されました。

歳入3億9千360万8千135円、歳出3億9千118万6千316円で、差引残額は242万1千819円となりました。前年度との比較では

歳入は0.3%の減、歳出は0.6%の増となっています。

歳入歳出の主な内容は、上記のグラフのとおりです。

なお、決算の詳細は組合のホームページに掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

平成27年度上半期

乙訓福祉施設事務組合は、財政状況の公表に関する条例に基づき、毎年6月と12月に組合財政の状況について公表しています。

今回は、平成27年度の上半期分として、平成27年9月30日現在における予算の執行状況や組合財産の現在高等についてお知らせします。

◆一般会計歳入歳出予算執行状況

(平成27年9月30日現在)

歳入

(単位：千円)

款	予算現額	構成比	収入済額	収入率
1 分担金及び負担金	404,722	93.4%	212,972	52.6%
2 国庫支出金	3,330	0.8%	0	0.0%
3 府支出金	5,000	1.2%	1,250	25.0%
4 財産収入	7,038	1.6%	3,552	50.5%
5 繰入金	9,769	2.3%	9,773	100.0%
6 繰越金	1,000	0.2%	2,422	242.2%
7 諸収入	2,243	0.5%	912	40.7%
歳入合計	433,102	100.0%	230,881	53.3%

歳出

(単位：千円)

款	予算現額	構成比	支出済額	執行率
1 議会費	1,540	0.4%	728	47.3%
2 総務費	59,175	13.7%	29,158	49.3%
3 民生費	371,387	85.7%	180,872	48.7%
4 予備費	1,000	0.2%	0	0.0%
歳出合計	433,102	100.0%	210,758	48.7%

◆組合財産の現在高

(平成27年9月30日現在)

区分	数量・面積	内 容
土地	3,286.46㎡	若竹苑 ポニーの学校用地（旧ポニー用地含む）
建物	2,045.58㎡	若竹苑、ポニーの学校（組合庁舎含む）
物品	85品	1品10万円以上の物品

○基金の状況

(単位：千円)

名称	平成27年9月30日現在残高
財政調整基金	2,007
施設整備基金	0

○一時借入金の状況

平成27年9月までの一時借入金の借入実績は、ありませんでした。

10月に長岡京市議員の役職選挙が行われました。11月1日現在の組合議会議員は、次の方々です。

副議長は、今後開催される議会で選出予定です。

議員
波多野底砂
(大山崎町)

議員
飛鳥井佳子
(向日市)

議員
太田 秀明
(向日市)

議員
白石多津子
(長岡京市)

議員
武山 彩子
(長岡京市)

議員
田村 直義
(長岡京市)

議員
辻 真理子
(大山崎町)

議員
福田 正人
(向日市)

議員
森田 俊尚
(大山崎町)

議員名は50音順

議長は傍聴可能です。
(予約不要)

議会日程についてはホームページに掲載しています。

組合議会議員紹介

「障がい」のひらがな表記について

「障害」の「害」という漢字は否定的なイメージを思い浮かべたり、不快感をもたれたり、人に対して使用することが心身に障がいを持つ方々への差別や偏見を助長しかねません。このことから、本組合で作成・発送する文書や広報などは、人や人の状態を表す「障害」の文字を「障がい」と表記します。但し、法律や制度の名称及び「障害物」など人や人の状態を表さない言葉では、従来どおりの表記となります。

乙訓福祉施設事務組合 人事行政の運営等の状況

本組合における人事行政の公正性、透明性を高めるため、「乙訓福祉施設事務組合 人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員の任免・給与・勤務条件・サービスの状況などを公表します。なお、詳しくはホームページをご覧ください。

1、職員の任免および職員数に関する状況

1 職員の採用・退職（平成26年4月2日から平成27年4月1日）		
区分	退職(人)	採用(人)
事務職	0	0
指導員	1	2
相談員	1	0
合計	2	2

2 退職事由（平成26年4月1日から平成27年3月31日）					
区分	定年	勧奨	普通	その他 出向など	合計
人数(人)	1	0	1	0	2

3 再任用の状況（平成26年4月1日から平成27年4月1日）	
区分	人数(人)
平成26年4月1日在職者数	1
平成27年4月1日在職者数	1

4 年齢別職員数（平成27年4月1日）						
年齢	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳
職員数(人)	0	0	3	9	5	3
年齢	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	合計
職員数(人)	1	1	0	7	1	30

5 職員数の推移							
年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	過去5年間の 増減数(率)
職員数(人)	26	27	27	29	30	30	4(15.4%)

6 級別職員数の状況（平成27年4月1日現在）								
区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
標準的な 職務内容	主事	主事	主査 主事	係長 総括主査 主任	課長補佐 施設長補佐	次長 課長 施設長 主幹	局長	
職員数	1	4	8	9	4	3	1	30
構成比(%)	3.3	13.3	26.8	30.0	13.3	10.0	3.3	100

（注）一般職の職員数です。

2、職員の給与等のあらまし

組合職員の給与は、国家公務員に準じ「条例」に基づき支給されています。なお、ここでお知らせする給与などは、税金や社会保険料を控除する前の額で、手取り額ではありません。

1 職員給与の状況
(平成26年度決算)

(注) 1 職員数は、26年4月1日現在の人数(再任用職員を含む)にかかる金額です。
2 職員手当には、退職手当、児童手当を含みません。

職員数 (A)	給与費				一人当たりの給与費
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	(B/A)
31人	107,367千円	20,676千円	43,255千円	171,298千円	5,525千円

（注）1 職員数は、26年4月1日現在の人数(再任用職員を含む)にか
かる金額です。
2 職員手当には、退職手当、児童手当を含みません。

2 職員の平均給料月額 及び平均年齢の状況 (平成27年4月1日現在)		一般行政職	平均給料月額	平均年齢
			299,780	37.9歳

3 職員の初任給の状況（平成27年4月1日現在）			
区 分		組 合	国
一般行政職	大学卒	174,200円	174,200円
	高校卒	146,500円	142,100円

3、職員の勤務時間その他の勤務条件の状況(平成26年度)

1 職員の勤務時間（標準的なもの）		
1週間の勤務時間	1日の勤務時間	休憩時間
38時間45分	午前8時30分～午後5時15分	午後0時～午後1時

2 年次有給休暇の取得状況		
区分	日数(日)	取得率（%）
年間平均取得日数	11.3	56.5

（注）平成26年中の全期間在職した一般職員の状況です。取得率を算出するための付与日数には繰越分は除いています。

4、職員の分限及び懲戒処分 of 状況(平成26年度)

1 分限処分の状況	2 懲戒処分の状況
該当ありません。	該当ありません。

情報公開制度・個人情報保護制度の実施状況について(平成26年度)

当組合の規定により、年に1度、情報公開制度及び個人情報保護制度の運用状況を報告しています。なお、請求以外で公開対象となっているものについては、原則公開しております。

	請 求	開 示	非 開 示
情 報 公 開	13 件	13 件	0 件
個 人 情 報 保 護	0 件	0 件	0 件



乙訓ポニーの学校は発達の遅れやつまづきが心配されるお子さんを対象とした療育施設です。乙訓2市1町に居住されている就学前のお子さんに対し、児童福祉法に規定されている障害児通所支援の中の児童発達支援事業を行っています。

また、平成24年6月からは相談支援事業も始めました。乙訓地域で生活しておられる18歳未満の児童とご家族・関係者の皆さんの相談をお受けしています。

TEL 075・952・5000 FAX 075・953・5200

ポニーの学校の利用申し込みは3月、6月、9月、12月の年4回受け付けています。

定期的な通園以外に、おもちゃライブラリーとして施設を開放しています。また、卒・退園児対象の施設開放事業も行っています。

豊かな育ちに向けて

遊びは心と身体の栄養になります。子どもたちは、豊かな遊びを通して周りの世界と関わっていく力を育てていきます。子どもたちが内面に秘めた、たくさんの可能性をのびやかに発揮できるよう、立ち止まったり、喜び合ったりしながら保護者の方とともに考えていきたいと思ひます。



基本理念

- I すべての子どもは等しく尊重されなければならない。
- II 療育活動の基本はあくまで人間教育であって、特殊な教育ではない。それぞれの「障害」を形式的に切りとり、固定化・限定化するのではなく、人間教育の原理をその基本とする。
- III 「早期発見」「早期療育」の一翼を担い、早くから関わりをもつことで生活圏を拡大し、社会生活への参加を図る。
- IV 親の力を最大限に活かし、子どもと子どもをめぐる諸問題を正しく認識する力を養う。
- V 必要な療育援助活動が孤立したものであったり、独善に陥ることなく、関連諸機関・団体との結びつきを強め、コミュニティケアとしての事業であることを明らかにしていかなければならない。

ご利用について

乙訓2市1町に住所を有する0歳～年長児までの子どもとその保護者が対象になります。利用申し込みは3月、6月、9月、12月です。

1 お問い合わせ・ご相談

各市町では、発達の遅れやつまづきがあるお子さんに対して発達相談を実施しています。サービスを利用したい方はそれらの相談を通じてポニーの学校を紹介されたり、直接役所へ保護者の方から連絡いただくことで利用に必要な手続きにつながります。

※発達相談の窓口（向日市：健康推進課、長岡京市：健康推進課、大山崎町：健康課）



2 施設見学

利用について考えておられる方は、施設を見学していただいています。発達相談の窓口を通じて、見学の日程調整をさせていただきます。



3 受給者証の申請

ご利用にあたっては、「通所受給者証」の交付を受けることが必要です。



4 重要事項の説明と契約

ポニーの学校の遊具

ポニーの学校には様々な遊具があり、療育の中で日常的に活用しています。子どもたちは遊びの中で、飛び跳ねたり、揺れたり、つかまったり、といった運動を通して、色々な感覚運動刺激を得ています。感覚運動刺激は、子どもが発達していく上での大切な栄養素です。吸収している感覚刺激には、自分の身体が重力に対してどのような位置、向きになっているかを感じる感覚、手足に力を入れたり曲げたりしていることを感じる感覚、物に触れている感覚などがあります。加えて、視覚や聴覚などからも刺激を得ています。経験を積み重ねることで子どもたちは、これらの身体に入ってくる複数の感覚刺激を交通整理し、ダイナミックな運動遊びを楽しむことができますようになります。ポニーで使っている大型遊具は、このような感覚刺激を効果的に安全に得られるように工夫されています。

今回は大型遊具を使ったポニーでの遊び方をご紹介します。

● トランポリン

全身に様々な刺激の入る遊具で、ポニーでは特によく使っています。子どもを抱いて跳んだり、手を繋いで跳ぶなどしています。仰向けやうつぶせになって揺られるのも楽しいです。バランスや姿勢を保持する力を養うことも出来ます。



● オーシャンスイング

ブランコです。座ったり立って、バーやロープを持ち揺られます。前に大型のブロックを積み上げて、揺られながら倒すなど目的をもって遊んだりもします。座面が広いので工夫すると子どもたち6、7人で乗ることができます。重力や加速の感覚を感じやすい遊具で、揺れの方向や、揺れの強弱、リズムに変化をつけることで、刺激の調整ができます。



● 滑り台

四つ這い・高這い・歩いて上ったり、滑ります。滑り台の向きを変えて組み合わせることでより手足に負荷がかかるよう展開もできます。分厚いマットを敷いてよじのぼったり、ロープやマットを垂らすことで色々な体勢でのぼるなどして遊んでいます。薄いマットを敷き、寝ころんだり座っている子どもたちを乗せ、大人が引っ張って滑る遊び方もできます。



※詳しいこととお知りになりたい方は、お電話でお尋ねください。ホームページもご覧ください。

おもちゃライブラリーのご案内

おもちゃライブラリーは、通園児親子に限らず地域のどなたでもご利用できるように、プレイルームを開放している日です。ゆったりとしたスペースで、トランポリンやすべり台等の大型遊具や好きなおもちゃを使って自由に遊べます。雨の日も安心です。

また遊びのアドバイスや子育てに関するご相談に応じています。お子さんのことでお聞きになりたいことがありましたら、なんなりとお尋ねください。

平成27年10月より、時間と曜日が変わりました。3月までの予定は次の通りです。

15時～16時30分に開催しています。

12月11日(金)	1月29日(金)	2月26日(金)	3月25日(金)
-----------	----------	----------	----------

卒・退園児のための **施設開放事業** 時間は10時～15時です。

平成28年1月6日(水)、3月31日(木)